

研究課題名	超聴診器による心不全推定及び大動脈弁狭窄症推定の臨床的有用性に関する検討
研究の意義・目的	<p>この研究は、AMI 株式会社が開発した心不全の程度を表す血液検査値（血漿 BNP 値）と大動脈弁狭窄症の重症度を推定した結果が、臨床現場において有用に活用できるかを検討することを目的に、熊本大学病院 循環器内科で行われます。</p> <p>これによって、心不全や大動脈弁狭窄症の重症度推定が有用であるかについて、企業だけでなく研究機関・医療機関でも検討することができるため、より客観的な評価を行うことができます。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年9月～加治木温泉病院で「電子聴診器および超聴診器による心音と心筋電位のデータ取得と解析」に参加された方が対象となります。 ・2020年12月～済生会熊本病院で「心臓疾患のバイオマーカー開発のための心音心電データベース構築に関する研究」に参加された方が対象となります。 ・2021年1月～富良野協会病院で「心臓疾患のバイオマーカー開発のための心音心電データベース構築に関する研究」に参加された方が対象となります。 ・2021年10月～三菱京都病院で「心臓疾患のバイオマーカー開発のための心音心電データベース構築に関する研究」に参加された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>過去にご協力いただいた上記の研究において取得した、下記項目を本研究に使用いたします。</p> <p>情報等：【病歴、診断名、既往歴、年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、血液検査、12誘導心電図、運動負荷心電図、内服情報、心音】</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究では、特定の個人を識別できない形で、熊本大学 循環器内科へ既存情報の提供を行います。既存情報の提供を行う際には、セキュリティの担保されたクラウド等を用いて共有されます。
この研究を行っている共同研究機関	<p>この研究は AMI 株式会社と熊本大学との共同研究で実施されます。</p> <p>AMI 株式会社 研究責任者：代表取締役 CEO 小川 晋平 熊本大学病院 循環器内科 研究責任者：辻田 賢一</p>
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関の名称： 熊本大学病院
連絡先	<p>この研究の対象となる方で、ご自身の情報は利用しないで欲しい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。</p> <p>AMI 株式会社 （担当者氏名）齊藤 旬平 メールアドレス：clinicaltrial@ami.inc</p>